



# かのや

## 第70号

令和5年7月28日発行

# 市議会だより

発行 / 鹿屋市議会

編集 / 議会報委員会



燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会の機運醸成のため国体ポロシャツを出席者全員で着用(6/9)

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」 2023年10月7日(土)～10月17日(火)

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 2023年10月28日(土)～10月30日(月)

### 鹿屋市開催



ローイング競技(全種別)  
9月21日(木)～24日(日)  
(会期前開催)



自転車競技(ロード・レース)  
10月15日(日)



バレーボール競技  
(成年女子・精神障害者の部)  
10月8日(日)～11日(水)  
10月28日(土)～29日(日)

### 《目次》

6月定例会議案審議 ..... P2～P4

その他の上程議案等 ..... P5

委員会審査報告 ..... P6～P7

一般質問 ..... P8～P14

委員会活動 ..... P15

市議会からのお知らせ ..... P16

市議会ホームページアドレス <http://www.city.kanoya.lg.jp/giji/shise/gikai/gaiyo/gikai.html>





### 令和5年5月臨時会及び令和5年6月定例会が開催されました

令和5年5月臨時会は、5月8日の1日の会期で開催され、付議された案件は、条例の改正、一般会計補正予算議案(第36号から第38号)など9件(うち報告4件)で、それぞれの議案を原案可決、承認としました。

令和5年6月定例会は6月9日から6月30日までの22日間の会期で開催しました。

今定例会に付議された案件は、令和5年度一般会計補正予算(第3号及び第4号)、条例の改正議案など8件で、それぞれの議案を原案可決、承認、同意とし、陳情1件を趣旨採択としました。

### 6月定例会

#### 補正予算関係

▽令和5年度鹿屋市一般会計補正予算(第3号)  
(全会一致可決)

国の補助金等の決定を受けて実施する事業及び事業進捗上、早急に実施する必要がある事業に要する経費などを計上するもの

▽令和5年度鹿屋市一般会計補正予算(第4号)  
(全会一致可決)

国の「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている生活者や事業者の支援に要する経費を計上するもの

### 令和5年度 一般会計補正予算額

#### ◎一般会計補正予算(第3号)

<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           予算額 587億6千109万2千円         </div>	+	<div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           今回補正額 2億5千436万9千円         </div>	=	<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           予算総額 590億1千546万1千円         </div>
---	---	--	---	--

#### ◎一般会計補正予算(第4号)

<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           予算額 590億1千546万1千円         </div>	+	<div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           今回補正額 4億4千838万1千円         </div>	=	<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           予算総額 594億6千384万2千円         </div>
---	---	--	---	--

**一般会計補正予算第3号の主な事務事業**  
 【国の補助金等の決定を受けて実施する事業及び事業進捗上、早急に実施する経費】

**国の補助金等の決定を受けて実施する事業**

**○脱炭素推進事業**

公共施設への太陽光発電設備・太陽熱温水設備を導入するとともに、市民の自家消費型太陽光発電設備・蓄電池設備の設置に要する経費の一部を支援することにより、「ゼロカーボンシティか

のや」を推進します。  
**3千288万3千円**

**○集落ネットワーク形成支援事業**

継続的な集落の維持・活性化を目指すため、地域コミュニティによる住民生活支援や新たな地域のなりわい創出に向けた活動を支援します。  
**1千500万円**

区分	事業内容
保健相談センター	太陽光発電設備設計
産業支援センター	太陽光発電設備設計
湯遊ランドあいら	太陽光発電設備設計
	太陽熱温水設備設計
鹿屋女子高	太陽光発電設備設計
北部学校給食センター	太陽光発電設備設計
南部学校給食センター	太陽光発電設備設計
市民向け自家消費型太陽光発電設備・蓄電池の設置補助	補助金 ・太陽光 70千円/kW (上限10kW) ・蓄電池 設置費用の1/3※ (上限10kWh) ※1kWhあたり155千円(工事費込、税抜)以下の設備に限る

事業主体	事業内容
古江町内会 鹿屋市漁協	○みなと市場復活プロジェクト ・日用品やお土産等の販売店舗運営 ・買い物困難者からの注文配送 ・買い物困難者の送迎支援 ○空き家風通し隊プロジェクト ・空き家の有償による管理 ・空き家の有償による改修 ・移住者募集 ・サブリース

**○資源リサイクル畜産環境整備事業**

市畜産環境センター利用農家等の家畜排せつ物自己処理施設の整備促進により、畜産環境対策を推進します。  
**5千940万8千円**

**事業進捗上、早急に実施する必要のある事業**

**○現年発生補助災害復旧事業**

4月6日に発生した大雨の被害により、法面崩壊した市道一里山高牧線について、市民生活の安全を確保するため、早期復旧を目指します。また、出水期に備えて災害復旧費を増額します。  
**1億2千500万円**



**一般会計補正予算第4号の主な事務事業**  
 【エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている生活者や事業者の支援に要する経費】

**市民生活支援**

**○住民税均等割のみ課税世帯支援事業**

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯のうち、国の住民税非課税世帯に対する「価格高騰重点支援給付金」の対象とならない、住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯当たり3万円を支給します。  
**9千630万円**

**○下水道事業会計物価高騰対策事業**

電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響を受けている市民生活への影響を考慮し、令和5年7月検針分から予定していた下水道使用料の引上げを延期することに伴う下水道事業会計の減収分を補填します。  
**3千600万円**



○福祉施設等物価高騰対策支援事業

区 分				支援額	
障がい福祉施設	LPガス	通所系		19,000円/事業所	
		入所系	定員 ~40人	69,000円/事業所	
	41人~		105,000円/事業所		
	食材費	通所系		60,000円/事業所	
入所系		4,000円/人			
認可保育所 認定こども園 地域型保育事業所	LPガス	定員	~50人	10,000円/事業所	
			51~150人	18,000円/事業所	
			151人~	27,000円/事業所	
	食材費			750円/人	
介護サービス 事業所等	LPガス	通所系		50,000円/事業所	
		入所系	定員	~40人	76,000円/事業所
				41~70人	157,000円/事業所
				71~100人	238,000円/事業所
	101人~			400,000円/事業所	
	食材費	通所系		68,000円/事業所	
		入所系		7,500円/人	
訪問給食サービス		32円/食			

9千25万8千円

事業者支援  
○福祉施設等物価高騰対策支援事業  
電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響を受けている福祉施設等が、安定的なサービス提供を継続できるように、LPガス及び食材費の価格高騰に係る影響額の一部を支援します。

事業者支援

○福祉施設等物価高騰対策支援事業

○公衆浴場燃料価格高騰対策支援事業

燃料価格高騰の影響を受けている民間公衆浴場事業者に対し、燃料価格高騰に係る影響額の一部を支援します。

258万4千円

対象者	支援内容
民間公衆浴場事業者	A重油：8円/ℓ 灯油：10円/ℓ

○農林水産業物価高騰対策支援事業

配合飼料や燃料等の価格高騰の影響を受けている農林水産業者に対し、配合飼料等の価格高騰に係る影響額の一部を支援します。

1億6千668万6千円



対象者	支援内容
茶農家	施設園芸等セーフティネット積立金 事業者負担金の1/6
施設園芸農家	
海面養殖業者	漁業経営セーフティネット積立金 事業者負担金の1/10
畜産農家	配合飼料等の価格高騰に係る 影響額の1/8（上限50万円）

○新商品開発等設備導入支援事業

電力・ガス・食料品等の価格高騰やウイズコロナ時代の消費需要の変化に対応するため、新商品・新サービス開発、新分野への展開などにより生産性向上に取り組む事業者を支援します。

4千377万2千円

対象者	支援内容
小規模事業者	設備投資額の2/3 (上限100万円)
中小企業者	設備投資額の1/2 (上限200万円)



○地域公共交通等燃料価格高騰対策支援事業

市民生活を支える路線バスやタクシー事業者及び市民生活や経済活動に不可欠な物流を支える貨物運送事業者に対し、燃料高騰に係る影響額の一部を支援します。

1千278万1千円



対象者	支援内容
路線バス事業者	燃料高騰に係る影響額の1/2 (地域間幹線系統・自主運行系統)
タクシー事業者	20,000円/1台 (オートガス車を除く)
貨物運送事業者	大型・中型トラック：10,000円/1台
	軽貨物自動車：6,000円/1台

## 6月定例会 その他主な上程議案・採決結果

議案名	概要	結果 (※施行日)
鹿屋市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	新型コロナウイルス感染症の患者等への対応作業に従事した職員に対し、特殊勤務手当を支給する特例を国の取扱いに準じ、廃止するため、専決処分したもの（5月12日専決処分）	全会一致承認 (公布の日)
鹿屋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び鹿屋市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	こども家庭庁設置法の施行により厚生労働省からこども家庭庁に所掌事務が移管されたことに伴い、所要の規定の整理を行うもの	全会一致可決 (公布の日)
鹿屋市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	放課後児童健全育成事業の実施要綱の一部改正に伴い、所要の規定の整理を行うもの	全会一致可決 (公布の日)
鹿屋市営住宅条例の一部改正について	老朽化した宮之下住宅の用途を廃止するもの	全会一致可決 (公布の日)
鹿屋市下水道条例の一部改正について	令和4年9月議会で議決された鹿屋市下水道条例の一部改正について、物価高騰等による市民生活への影響を考慮し、使用料改定の実施時期を延期するもの	全会一致可決 (公布の日)

※施行日については、条例改正等の施行日を参考掲載しています。

## インターネットで議会中継を視聴できます



鹿屋市議会では、議会中継を市議会のホームページからライブで視聴できます。

ライブ中継以外に、録画中継もありますので、ご覧になりたい定例会を選んでご視聴ください。

※視聴できる定例会は平成28年以降の議会中継になります。

議会中の URL

[https://smart.discussvision.net/smart/tenant/kanoya/WebView/rd/council\\_1.html](https://smart.discussvision.net/smart/tenant/kanoya/WebView/rd/council_1.html)



陳情

(趣旨採択としたもの)

▽眼鏡橋大園橋保存にかか  
る陳情



人事案件

▽固定資産評価員の選任に  
ついて

宮田 利明

(同意)

委員会審査報告

◆総務市民環境委員会

▽鹿屋市職員の特殊勤務手当  
に関する条例の一部を改正  
する条例の専決処分の承認  
について

問 特殊勤務手当の支給実績  
はないとのことであるが、職  
員が直接感染者と接触するよ  
うな業務はなかったのか。

答 市業務としては、今回廃  
止した特殊勤務手当対象とな  
るものは無く、県からの要請  
に基づき保健所へ派遣した保  
健師についても業務内容は電  
話での健康観察等であつたた  
め感染者等と接触するような  
業務は行っていません。

◆産業建設委員会

▽鹿屋市営住宅条例等の一部  
改正について

問 廃止・解体後の跡地の利  
活用についての計画があるか。

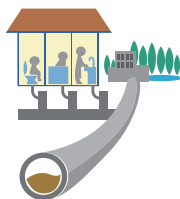
答 当該敷地は水防法の洪水  
浸水想定区域内に入っており、  
今後、浸水対策も含めて庁内  
で検討していくことになる。  
その際は、地域の声や要望な  
ども伺いながら具体的な活用  
策について検討していきたい。



▽鹿屋市下水道条例の一部改  
正について

問 下水道使用者だけでなく  
市民全体への支援対策の議論  
はなかったか。

答 下水道課の所管では特段  
なかったが、今回の一般会計  
補正予算において、各種支援  
を講じる。



◆文教福祉委員会

▽鹿屋市特定教育・保育施設  
及び特定地域型保育事業の  
運営に関する基準を定める  
条例及び鹿屋市家庭的保育  
事業等の設備及び運営に関  
する基準を定める条例の一  
部改正について

問 こども家庭庁の設置によ  
り児童生徒の施設の充実が図

られていくと思う。施設の建  
替えに関する国の助成制度は  
あるが、市独自の制度はある  
のか。

答 市独自の制度はないが、  
国の制度を活用して、令和6  
年度までは定員増を伴う老朽  
化した施設等を優先に整備し  
ていく考えである。

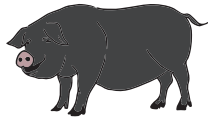
◆予算委員会

▽令和5年度鹿屋市一般会計  
補正予算(第3号)

問 「ゼロカーボンシティか  
のや」を推進するため、市民  
向け自家消費型太陽光発電設  
備・蓄電池の設置費用の一部  
を補助することになるが、何  
件を想定しているのか。

答 30件程度を見込んでお  
り、5年間は継続して実施す  
る予定である。

▽令和5年度鹿屋市一般会計  
補正予算(第4号)



**問** 配合飼料や燃料等の価格高騰の影響を受けている農林水産業者に対し、配合飼料等の価格高騰に係る影響額の一部を支援することになるが、上限額五十万円の設定は、どのような考え方で決定したのか。

**答** 畜種別では、肉用牛繁殖経営は、母牛への配合飼料給与量が少ないことや、自給粗飼料を確保できる点など自動努力による改善が他畜種と比較し、容易であるため、畜種毎の標準的な年間給与量に応じて設定を行った。

## 5月臨時会

### 補正予算関係

▽令和4年度鹿屋市一般会計補正予算(第10号)の専決処分の承認について  
全会一致承認

▽令和5年度鹿屋市一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認について  
全会一致承認

▽令和5年度鹿屋市一般会計補正予算(第2号)  
全会一致可決

その他の議案  
▽鹿屋市税条例及び鹿屋市都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について  
全会一致承認

▽鹿屋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について  
全会一致承認

## ～ 議会の傍聴にお越しく下さい ～

本会議は、一般に公開され、どなたでも傍聴することができます。児童等については、議長の許可が必要です。

市役所の本庁舎4階、議会傍聴席入口で、一般傍聴券に住所、氏名等を記入し、お入りください。

傍聴の際は、留意事項をお守りいただきます。

議員の活動や市政の動向を知る場でもありますので、ぜひ傍聴にお越しく下さい。



# 一般質問

6月定例会では、1会派と14人の議員から市政全般に関する一般質問が行われました。紙面の都合により質問・答弁を要約して掲載していますので、詳細な内容については鹿屋市議会会議録若しくは市議会ホームページをご覧ください。

## 《代表質問》 ※代表質問者（会派名）

- ・米永 あつ子（市民クラブ）

## 《個人質問》

- ・原田 靖
- ・田辺 水哉
- ・泊 義秋
- ・市来 洋志
- ・柴立 豊子
- ・今村 光春
- ・中馬 美樹郎
- ・西蘭 美恵子
- ・川崎 勝
- ・岩松 近俊
- ・福田 伸作
- ・児玉 美環子
- ・吉岡 鳴人
- ・繁昌 誠吾

※一般質問の様子は下記アドレスからご覧いただけます。  
[https://smart.discussvision.net/smart/tenant/kanoya/WebView/rd/council\\_1.html](https://smart.discussvision.net/smart/tenant/kanoya/WebView/rd/council_1.html)

### 代表質問

#### 市民クラブ



代表質問者  
米永 あつ子

#### 会派構成員議員



松野清春



時吉茂治



本田 仁



#### 「働きたくなる・住みたくなるプロジェクト」について

**問** 新たな工業団地の完成はいつか、また、企業誘致について、魅力的な雇用の場の創出とはどのような企業か示されたい。

**答** 現在、取得する土地の範囲や時期等について県と協議を行うとともに、基本計画の策定を進めている。企業誘致については、地元高校生はもとより、市外に出た方々が地元へ帰ってきて知識や技術を活かせる雇用の場の創出など、夢や希望を持って働ける企業の誘致に取り組んでいきたい。

**問** 雇用奨励金や特定雇用従業員加算、新規卒業者及びUI-Jターン者加算金など設けて、完成時にはテナントが満杯になるよう取り組む考えはないか。

**答** 本市の企業誘致の優遇制度については、見直しを行い、制度の充実を図ったところである。新たな工業団地に企業を誘致するためのさらなる支援の充実・強化を講じていく必要があると考えており、企業にとって魅力のある、本市に立地したくなるような支援策を検討したい。

#### みんなで育む「かのやっ子プロジェクト」の具体的な取組について

**問** 子ども医療費窓口負担の現物支給への移行と学校給食費の全額公費負担実施について示されたい。

**答** 受給者にとって利便性の高い現物支給方式を引き続き要望してまいりたい。学校給食費の公費負担については、児童生徒の保護者へ給

食費の半額を助成する「学校給食費負担軽減事業」を開始した。全額助成ではないが、子育て世帯の経済的負担の軽減に繋がっていると考えている。今後も、教育環境の整備充実について努力してまいりたい。

**問** 奨学金利用者がUターンし起業・創業・就職をした場合、返済不要とする取組を実施する考えはないか。

**答** 今年度より奨学資金返還支援として返還期間延長し、月々の返還額の負担軽減を行った。移住・定住の促進を図るための制度の構築を検討し、条件等について関係課と十分に協議し新たな制度について検討してまいりたい。

#### 持続可能な社会づくりに向けて

**問** 鹿児島県が林業大学校設置を検討しているが本市に誘致する考えはないか。

**答** 持続的な森林の保全や人工林の適切な経営のためには、



林業の担い手の確保、育成は重要と考えている。今後の県の方針策定の推進を見定めるとともに、市内の森林組合や林業関係者と意見交換をしながら論議を深めていきたい。



原田 靖  
議員  
(無所属)

中心市街地活性化について

問 リナシティかのや情報プラザにコワーキングスペース、中央公民館の統合などの検討が進められているが、進捗状況と専門家や市民の意見をどのように活かそうとしているか。

答 令和6年4月の運用を目指し、調整を進めている。利用者説明を昨年から行い、今後、ホームページや広報かや等で一般の方へも、本年度中に周知を図ることとしている。また、市内の関係者や県

内の事業者の意見を踏まえながら、新しい出会いとアイデアが生まれる拠点にしたいと考えている。

問 総務省の制度を活用し、まちづくりの伴走者としての人的強化を図る考えはないか。

答 市内においても、まちづくりに熱い想いがある方が大勢いることから、それぞれの役割分担の明確化や、商店街等の地域の方々と意見交換を行いながら、協働して本市の特性に適したまちづくりを推進してまいりたい。

コンパクトシティ実現に向けた取組について

問 定住人口の増加を図るため、具体的な誘導策を示されたい。

答 誘導策については、「鹿屋市立地適正化計画」において、居住誘導区域や地域拠点・生活拠点への定住・誘導の促進や、居住を誘導するための良好で安全・安心な居住環境の形成などに関する施策を位置

付けている。

問 早期のコンパクトシティ実現のため「選択と集中」による様々な支援策を考えられないか。

答 中心市街地において「都市のスポンジ化」が大きな課題になっていると認識しており、「中心市街地における低未利用地の活用検討業務」を発注することとしている。まちづくりに関わる様々な団体と意見交換を重ねながら、役割分担や方向性等について関係団体と一体になって取組を進めていく。



町内会の法人格について



田辺 水哉  
議員  
(政経クラブ)

問 町内会組織が認可地縁団体として、法人格を取得した場合の利点と法人化しない場合の違いを示されたい。

答 利点は、土地、建物等の不動産を町内会名義で所有することが可能になることである。法人化しない場合は、自治公民館など実態として町内会所有の不動産であっても、団体名義での登記はできない。

脱炭素社会の取組について

問 グリーンズローモビリティの実証実験が行われたが、その後の取組はどうなっているのか。また、今後の展開はどうか。

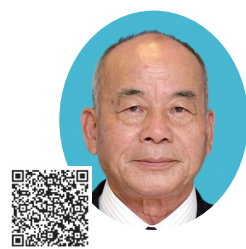
答 調査実施後に行った利用者アンケートの結果は、一定のニーズが有ることが明らか

になった。運行を本格的に事業化していくためには、運行体制を整備していく必要がある。現段階で、他の町内会等においてグリーンズローモビリティの導入・活用を検討している動きはないが、脱炭素に資する取組の一つでもあると考えている。

問 原動機付自転車通勤する生徒に電動バイク購入の補助金を支給できないか。

答 電動バイクは原動機付自転車と比較して高額で一回の充電での走行距離も短くバッテリー充電の際の持ち運びが手間となることから、現在はほとんど普及していないため購入補助は検討していない。





秋 義 泊  
議員  
(政伸クラブ)

第2次かのや農業・農村戦略ビジョンについて

問 遊休農地を利活用し、飼料自給率の向上のためにどのような飼料作物を推奨しているのか示されたい。

答 輝北地域で畜産農家グループにより繁殖雌牛の放牧実証事業を実施し、遊休農地の牧草地化が進んでいる。取組の推進に当たっては、国・県補助事業を活用した農業機械の導入や地区単位での草地・飼料畑の造成など支援してまいりたい。

問 農業機械を共同で購入してスマート農業の取組を実践及び予定しているグループや地域を示されたい。また、補助制度、支援体制等を示されたい。

答 施設園芸における環境制

御技術が、吾平・串良地区など、農業散布用のドローンは、市内で生産者組織、農業法人で導入されている。そのほか、生産管理システムなどの省力化機械が農業法人を中心に導入されている。

今後、労働力不足などの課題解決に向け、関係団体と連携を図り、スマート農業の普及促進に取り組んでまいりたい。

宮之下住宅の解体と跡地利用計画について

問 平屋11棟の家屋調査結果を示されたい。

答 天井材の一部にアスベストが含有していることが判明したが、含有率も低く特別な処分が発生するものではない。

問 跡地利用として、具体的な立案・計画等が既にあれば示されたい。

答 跡地利用については、浸水対策を含め、庁内で検討をし、町内会や関係団体等にも意見を伺いながら、活用策について検討してまいりたい。



志 洋 市 来  
議員  
(会派 創生)

畜産振興について

問 新規就農者への政策はどのようなものがあるか。また、現在の政策の改善点や新たな政策の考えについて示されたい。

答 就農開始前の新規就農者や市外在住の後継者を対象に研修や生活資金の支援、畜舎等の整備に要する経費への一部助成や就農祝い金の交付。また、就農後も肉用牛の導入支援など就農しやすい経営支援等を実施している。今後も次世代を担う新規就農者が定着できるように技術的・経済的なサポートを総合的に行っていく。

格付基準について

問 公共工事に係る入札の格付けは、主観要素を分かりやすくするため公表することは

考えられないか。

答 市の算出に当たっては、県の評価に含まれない市発注工事の受注実績や工事成績、市との防災協定の締結などといった独自の主観的要素を算出して加点している。格付総合点の公表はしてないが格付名簿に併せて格付総合点の算出方法及び加点内容は公表している。

問 入札参加資格業種について、舗装工事を県と同様に格付業種にする考えはないか示されたい。

答 舗装工事においては、実績、技術者の配置などの施工体制、舗装専用機械の保有などを審査した上で、登録を行い、工事の品質確保に努めており、今後も登録業種として継続したい。



子 豊 柴 立  
議員  
(日本共産党)

インクルーシブ防災について

問 新防災マップ活用講座は年に何回行われているか。

答 町内会や事業所などを対象に、令和4年度は3団体(525人)に行われ、そのほか地域防災リーダー研修会、出前講座、小中学生の防災授業などの機会に新防災マップを紹介している。

問 避難行動判定フローにある親戚や知人宅に避難した場合、安否確認はどのようにされているのか。

答 現時点では、親戚や知人宅に避難したり、駐車場等に避難して車中泊した方等の情報については、把握できていない。ただし、大規模災害の際は被災地における市民の安否確認が必要なことから、より迅速な安否確認方法につい

て検討していく。

重要土地等調査法特別注視区域指定について

問 鹿屋基地の区域指定に伴い、周辺の市民生活にどのような影響があるのか。

答 鹿屋基地等の対象施設周辺の土地・建物の所有者等及び、その利用状況について国の調査があるほか、200㎡以上の面積の土地や建物を売買する際に利用目的等について届出が義務付けられるが、土地建物の取引自体を規制するものではない。国によれば、機能阻害行為がなければ、市民の日常生活への影響はないとのことである。

問 周辺概ね1kmの範囲は具体的にどの地域になるのか。

答 鹿屋航空基地の敷地周囲から概ね1kmを範囲として、道路、河川等に沿い、建物は分断しないよう区域の外縁が設定されると聞いている。正式に決まったら、示したい。



今村 光春 議員 (会派 創生)

農業政策について

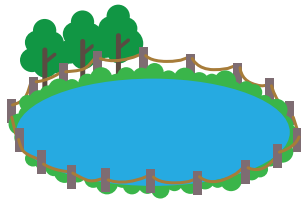
問 吾平、輝北、串良地区の航空防除に長年にわたり補助を行っているが、昨今の事情により農家への支援を少しでも上乗せできないか。

答 航空防除による一斉防除は各協議会の薬剤散布に係る経費に対して概ね3分の1の支援を行っている。昨今の物価高騰の影響から、農業を含む幅広い分野で事業者の経営が圧迫され、厳しい状況が続いている中、農業分野においては、国等が、肥料や燃料等に対する支援事業を実施しているところであり、本市においても、燃油に対する国事業の上乗せ支援を行っているところである。今後、各地域航空防除協議会を構成している県やJA等と協議し、意見を伺っていく。

市立公園について

問 下小原池公園の池を埋めて串良町に無いグラウンドゴルフ場の整備はできないか。

答 池の現状として、5月から7月末の用水不足時には、一部の水田で農業用水としての利用があることや、大雨時には、調整池として一定の防災機能を有している。また、長年、水抜きもしていないことから、相当量の沈殿物が堆積していると思われる、池の埋め立てについては慎重に検討する必要がある。



中馬美樹郎 議員 (無所属)

市職員の労働環境改善と職員の健康管理について

問 職員の働き方改革の現状と課題について示されたい。

答 本市の働き方改革については、これまで定型業務等へのRPAやAI等の導入による業務の効率化を図ってきた。育児に関する休暇の取得促進に加え、時差出勤やテレワークの活用など多様な働き方を積極的に促進することで、仕事と子育ての両立を図りやすい体制を整えていく。

問 職員のメンタル不調による病欠・休職の状況とメンタルヘルス不調者の予防や職場復帰と再発防止にむけた本市の取組について示されたい。

答 産業医による定期健康相談、ストレス検査を実施し心の健康づくりを推進している。

また、病気休暇を取得した職員のアリソンなど実施し、スムーズな職場復帰の支援を行っている。

教育行政について

問 定数どおり配置されなかった学校と人数を示されたい。また外国語指導助手、国際交流員の配置状況を示されたい。

答 今日現在、児童生徒を担任する教員は全て配置されている。一方、少人数指導や特定教科を指導する加配教員等が、小学校で10人、中学校で2人の合計12人が未配置となっている。また、外国語指導助手が6人配置され、国際交流員は5月に退任し、後任の配置に向けて準備を進めている。

問 昨年度の労働時間の実態調査と教職員の持ち帰り業務の実態を示されたい。

答 近年の時間外勤務の平均を比べると各学校において業務改善が進んでいると考える。持ち帰り業務の把握は翌日等に把握している。



西蘭美恵子 議員 (政経クラブ)

消防団詰所と装備品について

問 地域防災の要となる消防団員の活動拠点である消防団詰所トイレの水洗と簡易水洗の数、男女別トイレを含め、今後の整備計画について示されたい。

答 46分団消防団詰所のうち水洗25、簡易水洗21となっている。改修等については、今後、詰所を整備する中で、検討する。

問 安全迅速と早期復旧のためドローンや重機などを配備する考えはないか。

答 ドローンは大隅肝属地区消防組合において、3機導入しており行方不明捜索や火災の現場で使用している。市においても橋梁の点検用に1機導入している。今後、災

害協定を含めた全体的な災害対策の中で対応する。

女性相談室(配偶者暴力相談支援センター)について

問 中高生を対象としたデートDVの授業や相談についてどのように対処しているのか。

答 人権・デートDVに関する授業は希望があった中学校・高等学校を対象に実施されている。ロールプレイやワークショップを通じてデートDVをなくすために必要なことを学んでいる。さらに相談先として市女性相談室等が紹介されている。

問 開設8年目を迎え相談体制と今後の方向性と課題について示されたい。

答 相談体制は、家庭相談係を設置した。設備等に関しては、執務スペースの制約から監視カメラは設置されていない。今後、人員体制、安全確保とプライバシーの保護に配慮した設備の在り方について、あらためて検討したい。



川崎 勝 議員 (会派 創生)

畜産環境センター廃止後の活用について

問 被川環境保全組合が計画した糞尿処理施設の現状と今後の方針について、また、畜産環境センターの廃止後の活用策として、東原町内にある県経済連養豚場及び被川環境保全組合を併せて移転・整備する考えはないか、示されたい。

答 計画していた施設については、東原町内での建設に向けて準備を進めていたが、建設予定地周辺住民の反対があったことから、当該組合の事務局であるJ A鹿児島きもつきを中心、新たな建設予定地の検討が進められているところである。

なお、畜産環境センターの跡地利用につきましては、浄化処理施設の機能を終えることから、廃止後は、堆肥舎等と

して利用するなど、有効な活用方法について検討していく。

中学校設立について

問 東原小学校の卒業生の多くは鹿屋中学校に進学するが通学路は交通量も多く急な坂道もあるため、心配の声が上がっている。安心・安全の観点から中学校の設立はできないか。

答 鹿屋中学校への通学路については、急な坂道など十分配慮すべき点があることは承知しており、鹿屋中学校においても安全な通行の仕方について日頃より指導を行っている。

引き続き通学時における注意喚起や安全指導を徹底するとともに、学校関係者や地域の方々から意見をいただきながら、より良い教育環境の整備に努める。



岩松 近俊 議員 (会派 黎明)

鳥獣被害防止対策について

問 鳥獣対策について、新たな体制整備と活動支援を進めるべきと思うが、考えを示されたい。

答 今後、国の支援事業を活用しながら、鳥獣被害が多い地区などで、地域や関係者と一体となった体制整備について、モデル的な取組を検討していく。

問 ICT等の新技術を活用した取組について示されたい。

答 生息及び被害状況の確認のためのセンサーカメラやわなによる捕獲活動を行う監視システムを導入している。引き続き、先進的な取組の調査研究を行いながら、より効果的で効率的な被害防止対策の実施に向けて検討する。

スポーツ大会出場助成金について

【問】 かがしま国体・かがしま大会に予選会等を経ずに選抜された選手も助成金の対象となるか。

【答】 鹿屋市スポーツ協会の助成金制度は、県代表として「かがしま国体・かがしま大会」に出場される選手も出場助成金を支給できる制度であり、地元選手が活躍できるよう支援していききたい。

【問】 支給額の見直しや新たな応援支援策は考えられないか。  
【答】 支給額の見直し等については、鹿屋市スポーツ協会において協議・検討されることとなっている。新たな支援策等は、鹿屋市スポーツ協会と連携しながら検討していきたい。スポーツ競技の底辺拡大を図るために鹿屋市スポーツ協会や関係機関と連携しながら、幅広く支援できるよう努めていきたい。



福田 伸作 議員 (公明党)

脱炭素社会の推進について

【問】 P E T ボトル削減とマイボトル普及促進に係る啓発活動の現状と今後の展開について示されたい。

【答】 本年4月プラスチックごみ問題の普及啓発活動を展開しているウォータースタンド株式会社と協定を締結し、市役所本庁舎、体育館など10施設11か所にマイボトル用給水機を設置した。今後においては、現在の利用状況や利用者の評価などを踏まえ、設置箇所の拡充についてウォータースタンド社とも協議するとともに、設置施設のマップ化を図るなど、市民や施設利用者への周知広報に努める。

災害時の避難所確保について

【問】 自力で避難することが難しい人向けの個別避難計画について。

【答】 災害時に支援が必要となる方については、個別に支援台帳を整備し、避難支援を行うこととしている。福祉関連部署との連携により把握するとともに、民生委員や町内会長との協力により、支援台帳の登録推進を推進していく。

【問】 本市のコンテナ型宿泊施設の現状を示されたい。  
【答】 災害発生時は迅速さが求められる。避難場所におけるプライバシーの確保の観点から、コンテナ型宿泊施設は、有効な施設であることから、本市に開業した事業者と災害発生時の利用等について協議を行いたい。



児玉美環子 議員 (公明党)

災害時の避難方法と避難所の在り方について

【問】 医療的ケアを必要とする市民の避難方法と避難場所についてはどのようなになっているか。

【答】 自宅が安全であるかの確認を事前に行い、安全である場合は、自宅での避難、自宅以外に避難が必要な場合は、日頃からケアを行っている家族等と一緒に、早めの避難が重要であると考えている。医療的ケアを必要とする方で、災害時の避難支援を希望し、個別支援計画の作成に同意いただける方については、作成支援を行い、早めの避難につなげたい。避難場所については、発電機を配備し、医療的ケアの必要な方々の要望等に配慮しながら、避難所の環境整備を行って行きたい。

【問】 タイムラインの作成について市民の理解は広がっているか。

【答】 地域防災リーダー養成講座等で、周知を行ってきた。出前講座や防災情報の発信、配布等、マイタイムラインの必要性・重要性について、市民の意識向上に努めていく。

中学生の自転車ヘルメット着用について

【問】 着用が努力義務化されたが着用率はどうか。

【答】 各中学校においては、県の条例等に基づき、任意保険加入及びヘルメット着用を自転車通学の許可条件とし、安全指導の徹底を図り、登下校中におけるヘルメットの着用は、100%となっている。

【問】 紛失・破損・盗難等防止のための指導はなされているか。

【答】 自転車同様、大切に扱う必要があるため、記名し、自転車カゴに大切に保管するように指導している。



吉岡 鳴人 議員 (会派 黎明)

農業政策について

問 今後の農業政策として「半農半X」の就農支援はできないか。

答 持続可能な農業を維持するために、認定農業者など中核的な担い手のほか、農業を希望する移住・定住者や半農半Xなどの確保・育成に取り組むこととしている。

問 地域農産物等を活用し、加工品等の研究開発及び事業化に向けた支援を行う考えはないか。

答 現時点において、加工品の販売を目的とした食品加工施設を市が整備することは考えていないが、OEMの受注ができる市内企業の情報収集、発信を行うとともに商品開発に取り組みたい農業者等とOEM企業とのマッチングを行

うなど、小規模事業者が商品開発を行いやすい環境づくりを進めていく。

教育行政について

問 子ども会の主な取組と成果、加入率について示された

答 加入率は、小学生で平成30年度の60%から本年度は、45%と15ポイントも減少し、地域の連帯感の希薄化に伴う地域力の低下、共働きの増加や核家族化等に伴う生活様式の変化などがあり、これにコロナ禍が拍車をかけたと考え

問 高校生や中学生の段階から、実践的に職業体験できる場や社会起業体験プログラムなどを設ける考えはないか。

答 これまでのキャリア教育のさらなる充実や、中・高校生が地域の企業と触れ合う機会を生かしながら、郷土を愛し、地域の課題を解決できるように資質・能力の育成に努める。



繁昌 誠吾 議員 (会派 創生)

中心市街地活性化について

問 開業から指定管理及びイベント等、これまで中心市街地活性化のために投入した総額を示されたい。

答 情報プラザ、芸術文化学習プラザ、健康スポーツプラザ及び福祉プラザの4つのプラザがあり、4プラザともオープン当初から指定管理者制度を導入しており、令和4年度までの指定管理委託料は、約35億4千万円、建物全体の管理に対する負担金は約2億3千万円支出している。また、中心市街地で開催された主なイベント等の事業費約3億1千万円のうち、約1億8千万円を市が支出している。

問 市長が就任してからの活性化事業についての成果及び課題と今後の方針・目標を示されたい。

答 「リナシティまるごとキッズフェス」や「食フェス」等を開催し、街の賑わいを創出している。課題は、商店街の会員数の減少が考えられる。本市玄関である中心市街地の賑わいの創出に向けた環境づくりを行っていく。

財政運営について

問 学校のトイレの洋式化の進捗状況と「こども政策日本一のみち鹿屋市」を目指す考えはないか。

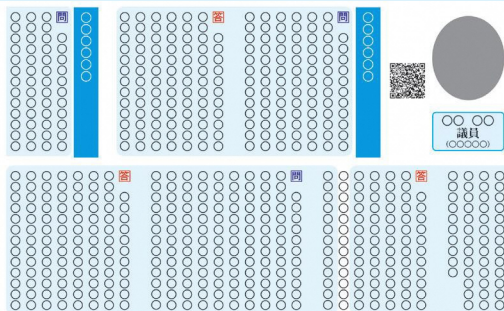
答 令和5年4月1日時点における本市のトイレ洋式化率は、44パーセントで、今年度は、8校の47基の整備を予定しており、令和5年度末には洋式化率が47パーセントになる予定である。

問 今後も引き続き健全財政の堅持に努めつつ、限られた財源を最大限に有効活用し、市民サービスの維持・向上や産業の振興、地域活性化の推進はもとより、教育振興に要する予算についても、しっかりと確保していく。



QRコードをスマートフォン等で読み取ると、一般質問の動画配信がご覧いただけるようになりました。

なお、視聴にはデータ通信料が発生する場合があります。

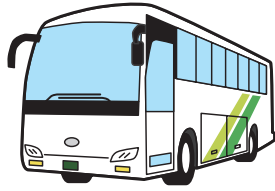


委員会活動

市内所管事務調査

本市議会では、総務市民環境委員会、産業建設委員会、文教福祉委員会が、所管する事項について市内所管事務調査を実施しました。

調査では、市内現地へ赴いて視察を行うなど、活発な質疑応答や意見交換、所管課への要望等が行われました。



◆総務市民環境委員会

●実施日

令和5年4月19日(水)

▽調査事項

- ・閉校跡地を活用した財産の有効活用について
- ・吾平山上陵の活発化について
- ・過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業について
- ・移住・定住促進事業について
- ・U・イターン促進事業について
- ・RPA導入事業について
- ・自治体クラウド導入事業について



◆産業建設委員会

●実施日

令和5年4月21日(金)

▽調査事項

- ・畜産クラスター事業
- ・鹿児島県団体営農村地域防災減災事業(シラス)
- ・特定防衛施設周辺整備調整交付金事業
- ・ばらを活かした街づくり推進事業
- ・鹿屋市有害鳥獣総合対策事業



◆文教福祉委員会

●実施日

令和5年4月25日(火)

▽調査事項

- ・小・中学校施設改修事業
- ・文化会館長寿命化事業
- ・星塚敬愛園について



## 令和5年度「議員と語る会」を開催します

議会報告やテーマを決めた意見交換などを行う「議員と語る会」を開催します。ぜひご参加ください。

日程	会場	出席委員会・テーマ	開催時間
10月17日(火)	高隈地区交流促進センター	文教福祉委員会 ・地域福祉について	午後7時から
10月18日(水)	コミュニティセンター 吾平振興会館	総務市民環境委員会 ・人口減少について ・消防分団について	
10月19日(木)	リナシティかのや	産業建設委員会 ・商店街の活性化について	

### 編集後記

令和5年度、2回目の市議会だよりとなります。今回は第70号で節目の発行となり、表紙もかごしま国体・かごしま大会を盛り上げる為に議員全員で国体ポロシャツを着用して撮影したものを採用しました。またコロナ感染も少しずつ収まりだして、各種イベント等も通常に戻り始め、ますます国体に向けて期待できる状況になって来ております。我々市議会でもこのかごしま国体・かごしま大会を大成功させて、活性化に繋げて行けるよう努めて参りますので市民の皆様方もご協力を宜しくお願い致します。

(議会報委員会副委員長 川崎 勝)

### 議会報委員会

議会だよりは、議会内容を要約して掲載しています。詳細については、会議録を閲覧ください。

よりよい誌面づくりのためにご意見・ご感想等を議会報委員会(議会事務局内)までお寄せください。

- ◎松野 清春                      ○川崎 勝  
 ・東 秀哉                        ・中馬 美樹郎  
 ・岩松 近俊                      ・田辺 水哉

(◎は委員長 ○は副委員長)

#### 【問い合わせ先】

TEL : 0994-31-1143 (議会事務局内)  
 Mail:gikai@city.kanoya.lg.jp

### 令和5年9月定例会会期日程(案)

月	火	水	木	金
8/21	22	23	24	25 本会議
28	29	30	31	9/1
4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 産業建設 委員会	8 文教福祉 委員会
11 総務市民 環境委員会	12 予算委員会	13 予備日	14	15 本会議 決算特別 委員会
18 敬老の日	19	20	21	22

※ 令和5年9月定例会は8月25日(金)から9月15日(金)までの22日間の会期で開催予定です。

詳細な日程等については、議会事務局までお問い合わせください。

※ 市役所の本庁舎4階 議会傍聴席にて傍聴できます。

※ 傍聴の際は、留意事項をお守りいただきます。

※ 本会議はライブ中継を行っておりますので、是非ご利用ください。